

子どもが分からなければならぬ列王記第一の重要な研究



2 (日)

だれもふせぐことができない

ほうほう

方法で、ソロモンが

王になりました

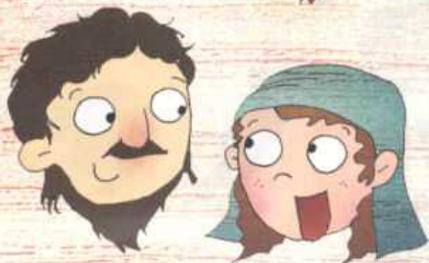
1 列王 1:32~37 | 「祭司ツアドクと預言者ナタンは、
そこで彼に油をそそいでイスラエルの王と
しなさい。そうして、角笛を吹き鳴らし、
『ソロモン王。ばんざい。』と叫びなさい。

それから、彼に従って上って来なさい。彼は来て、
私の王座に着き、彼が私に代わって王となる。
私は彼をイスラエルとユダの君主に任命した。」
(34~35)



1. だれも考えることができないことを
神様はダビデを通じてなさいました

(1) 神様はサムエルに、ダビデを訪ねて行って
王になると知らせて、油を注ぎなさいと
言われました (Iサムエル 16:1~13)



- 
- (2) 数多くの軍人を差しおいて、幼いダビデが
ゴリヤテを倒すように働かれました(Iサムエル 17:1~47)
- (3) ダビデをサウル王の手から救って、王に立て、
神殿を準備するようにされました(I歴代 29:10~14)

2. 神様は考えることもできない人物であるソロモンを ダビデの後の王になるようにされました

- (1) ソロモンは、ウリヤの妻であるバテ・シェバを
通して生まれたダビデの子孫です(サムエル 11:2~5)
- (2) ナタンの叱責を受けて生まれた2番目の息子です(I列王 1:32~37)
- (3) ソロモンの子孫を通して神様はメシヤを送られました
(マタイ 1:6、ルカ 3:31)

3. 神様の召しは、人の知恵では判断できません

- (1) メシヤの家系図を見れば、神様は長男より次男を
用いられ、重要な時刻表に女の人を用いられました
(マタイ 1:1~25)
- (2) 神様が召された十二人の使徒は漁師出身で、たくさん
学んだり、優秀な人たちではありませんでした
(マルコ 3:13~15)
- (3) パウロ時代の伝道者たちも、
やはり弱い人々でした(Iコリント 1:18~31)

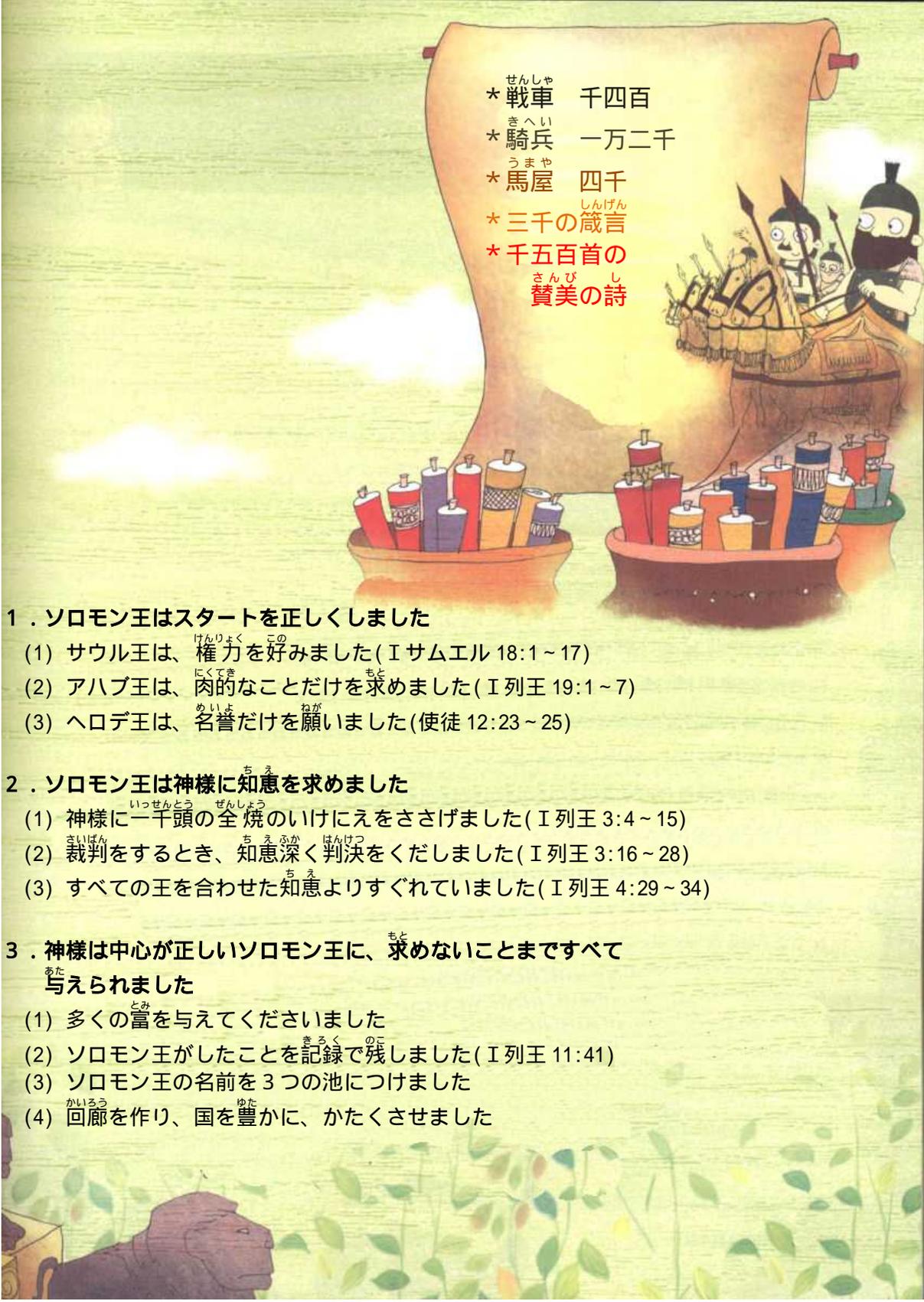
9

(日)

ソロモン王が神様に もとめた^{いの}祈りは なんだったのでしょうか

1列王 3:4~15 | 「^{ぜんあく}善悪を^{はんだん}判断してあなたの^{たみ}民をさばくために^き聞き分ける心をしもべに与えてください。さもなければ、だれに、このおびたしいあなたの^{たみ}民をさばくことができるでしょうか。」この^{ねが}願い事は主の^{みこころ}御心にかかった。ソロモンがこのことを^{ねが}願ったからである。(9~10)





* 戦車 千四百
* 騎兵 一万二千
* 馬屋 四千
* 三千の箴言
* 千五百首の
賛美の詩

1. ソロモン王はスタートを正しくしました

- (1) サウル王は、権力を好みました(Iサムエル 18:1~17)
- (2) アハブ王は、肉的なことだけを求めました(I列王 19:1~7)
- (3) ヘロデ王は、名誉だけを願いました(使徒 12:23~25)

2. ソロモン王は神様に知恵を求めました

- (1) 神様に一千頭の全焼のいけにえをささげました(I列王 3:4~15)
- (2) 裁判をするとき、知恵深く判決をくださいました(I列王 3:16~28)
- (3) すべての王を合わせた知恵よりすぐれていました(I列王 4:29~34)

3. 神様は中心が正しいソロモン王に、求めないことまですべて与えられました

- (1) 多くの富を与えてくださいました
- (2) ソロモン王がしたことを記録で残しました(I列王 11:41)
- (3) ソロモン王の名前を3つの池につけました
- (4) 回廊を作り、国を豊かに、かたくさせました



16 (日) ソロモン王は^{わす}忘れられない 業績^{ぎょうせき}を^{のこ}残しました

1 列王 8:15~21 | 主は、お告げになった約束を果たされたので、
私は父ダビデに代わって立ち、主の約束どおりイスラエルの
王座に着いた。そして、イスラエルの神、主の名のために、
この宮を建て、(20)

1. 神様の時代的計画をなしとげる中に、すべてのことがみな入っています

- (1) サムエルは、契約の箱のそばに横になってビジョンを夢見しました
(Iサムエル 3:1~18)
- (2) ダビデは契約の箱の奥義を伝えてもらいました(Iサムエル 16:1~13)
- (3) ダビデはソロモンに契約の箱と神殿の建築を指示しました
(I 歴代 28:1~21)

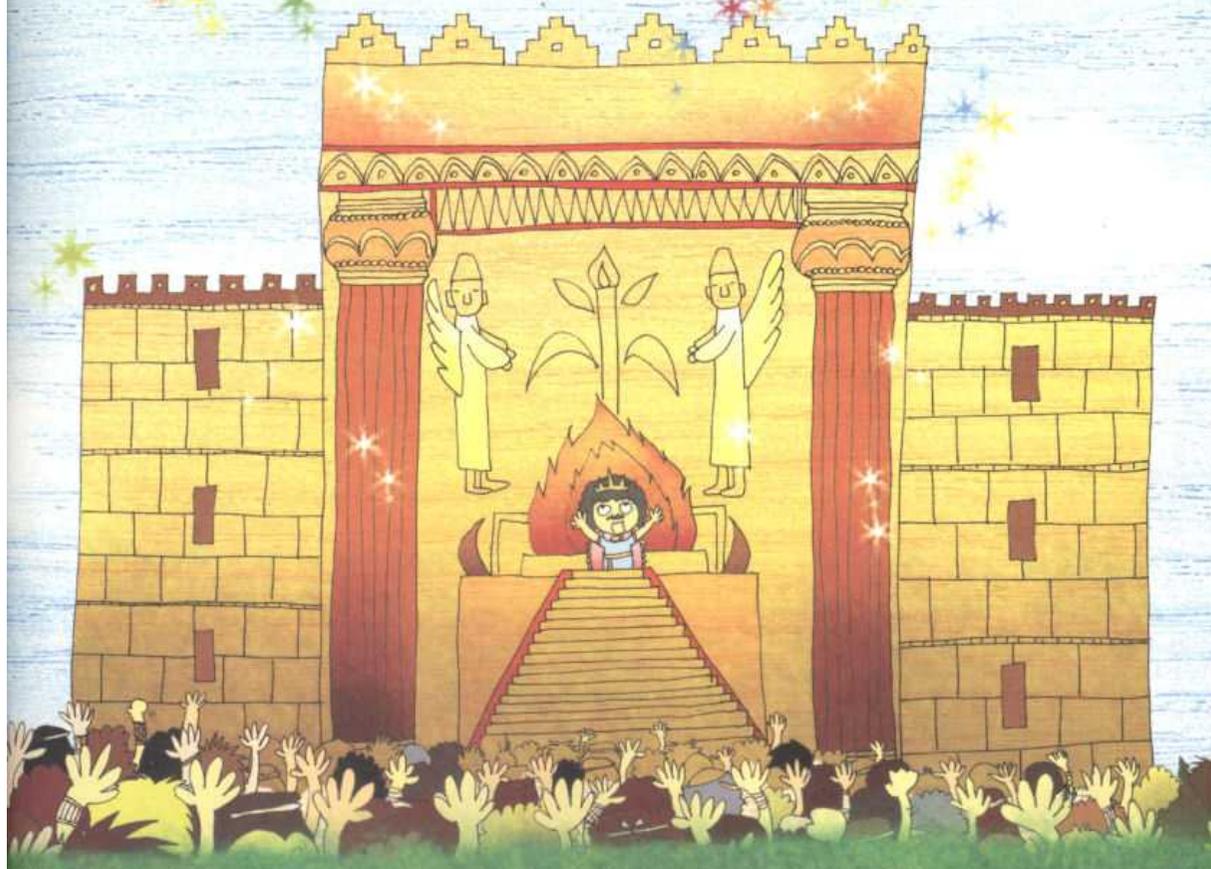
2. ソロモン王は最初に神殿を作る祝福を味わいました

- (1) ダビデの思いに従って神殿の準備を徹底的にしました(I列王 5:13~18)
- (2) 最高の働きである最初の神殿を完成して、契約の箱を移しました
(I列王 6:1~10、8:1~9)
- (3) 神殿を神様にささげ(献堂)、イスラエルの民の前に演説(献堂史)
をしました(I列王 8:10~21)

- (4) 胸にある祈りと民に向かった祝福と勧めは、イスラエルの最高の栄光になりました(I列王 8:22 ~ 53、54 ~ 61)。

3. 正しい福音と正しい契約、正しい神殿を作ったら、これより大きい祝福はないでしょう

- (1) サムエルの言葉は一つも地に落ちませんでした(Iサムエル 3:19)
- (2) 羊を飼う牧者として、ダビデは王になる準備をしました(詩 23:1 ~ 6)
- (3) 神様は、ソロモンを通じて、イスラエル最高の栄光を受けられました(I列王 8:10 ~ 14)



子どもが分からなければならぬ列王記第一の重要な研究



23 (日)

ソロモン王は最後になって 大きな失敗をしました

Ⅰ列王 11:1 ~ 10 | ソロモンが年をとったとき、その妻たちが彼の心をほかの神々のほうへ向けたので、彼の心は、父ダビデの心とは違って、彼の神、主と全く一つにはなっていなかった。(4)

1. 真の成功が何かを分からなければなりません

- (1) 快樂につながる成功は、真の成功ではありません
- (2) 神様の計画をなすことが真の成功です
- (3) 神様の恵みを最後まで味わうことが成功者の人生です

2. ソロモン王は真の成功に失敗しました

- (1) 豊かな祝福が* ぜいたくに変わりました(Ⅰ列王 10:14 ~ 19)

- (2) 名譽と人気は、異邦人の女性に会うことで変わってしまいました
(I列王 3:1~3、11:1~3)
- (3) エルサレム全域に偶像が立つようになりました(I列王 11:1~10)
- (4) イスラエルが分裂すると預言されました(I列王 11:11~13)
- (5) ソロモン王に反対する人(反逆者)が起きはじめました
(I列王 11:14~40)

3. 私たちは新しい覚悟をしなければなりません

- (1) ほかのことより、みことばを正しく握らなければなりません(伝 12:11)
- (2) 答えより、救いの祝福を味わわなければなりません(伝 12:1~10)
- (3) 働きより、神様の計画をかたく握らなければなりません(伝 1:12~18)

* ぜいたく：必要以上のお金や物を使って、自分に合わない生活をする事

* 異邦人の女性：ほかの国の女の人



30 (日)

福音を正しく味わわない
ならば、ソロモン王以後に
起きた事件と同じ
ことが起きます

I列王 22:51 ~ 53 | 彼は主の目の前に悪を行ない、彼の父の道と彼の母の道、それに、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤロブアムの道に歩んだ。すなわち、彼はバアルに仕え、それを拝み、彼の父が行なったと全く同じように行なって、イスラエルの神、主の怒りを引き起こした。(52 ~ 53)





1. 重要な教訓を大事に保管しなければなりません

- (1) 神様をのがせば、世の中をのがすようになります (I 列王 22:51 ~ 53)
- (2) 契約をのがせば、
私をのがすようになります (伝 1:1 ~ 11)
- (3) 救い(福音)をのがせば、
未来をのがすようになります (伝 1:12 ~ 18)

2. ソロモン以後に深刻なことが起きました

- (1) 国が2つに分かれました (I 列王 11:29 ~ 40)
- (2) 南側のユダにヒゼキヤとヨシヤのような王が出ましたが、
一瞬の改革で終わってしまいました (列王 19:14 ~ 35)
- (3) 北側のイスラエルにはアハブのような悪い王が出て、
続いて悪を行いました (I 列王 19:1 ~ 7)
- (4) 結局、北側のイスラエルは最後の王ホセア王の時、アッシリヤによって崩壊し、南側のユダはゼデキヤ王の時、バビロンの捕虜になってしまいました (列王 25:1 ~ 21)

3. 人生の終わりに書いた記録に、ソロモン王の後悔と悔い改めが残されています

- (1) 人生が空になること、日(太陽)の下には新しいことはひとつもないと告白しました (伝 1:2)
- (2) 栄華、名誉、功労もむなしなことだと告白しました (伝 4:7 ~ 10)
- (3) ただ主だけが真実であると告白しました (伝 12:1 ~ 10)